

吉賀中だより

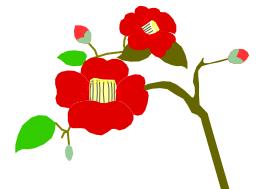
令和8年1月22日
吉賀町立吉賀中学校
(文責: 城市)

めざす生徒像

- 誠実な生徒 [誠実]
- 自ら行動できる生徒 [自主]
- 新たな表現のできる生徒 [創造]
- 学び合い・高め合う生徒 [連帯]

令和7年度 学校教育目標

「自他を大切にし、共に自らの可能性を広げる生徒の育成」



2026年(令和8年)になりました

去年今年 貫く棒の如きもの

たかはまきよし
高浜虚子

2026年が明けました。旧年中は保護者・地域の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。1月8日に始業式を行い、第3学期のスタートを無事に行うことが出来ました。生徒は皆、明るい笑顔で久しぶりの友達との語らいや学校生活のスタートを新たな気持ちで迎えている様子でした。保護者・地域の皆様には、本年も変わらぬご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

さて、冒頭の俳句は私のとても好きな俳句で、高浜虚子が昭和25年の年末によんだと言われています。その解釈は人それぞれありますが、私はこの俳句をよんだときに「一年という年が過ぎ、たとえ新年という節目があろうとも、時流を越えて『我ここにあり』と貫く信念は変わることなく日々を過ごしていくのだ」という大局観にも似た思いを受けました（逆に、「何も年が改まったからといって、何も変わるものでもない」というふてぶてしさを感じるという解釈をされる方もおられます）。新年という節目を迎えましたが、この俳句の私の解釈のように、本年も吉賀中学校は揺らぐことなく、前へ前へと邁進していくつもりであります。

性相近也 習相遠也

(せいあいいちかきなり ならいあいとおきなり)

これは、私が高校生の時の書道の授業に書いた、論語（孔子の教えを弟子によってまとめられた書物）の一節です。当時学んだ隸書体で書き、木枠を自作して書を貼り

付け、篆刻（てんこく：石を彫って作った自分の氏名印章）まで押したのですが、残念ながら見当たらなくなってしまいました。『性相近也 習相遠也』とは、「人間は生まれつき持っている性質には大きな差はなく互いによく似たものであるが、生まれた後の習慣によって互いに善悪や賢愚などの隔たりが大きくなるのである」という意味です。

論語には、「過ちて改めざる これを過ちという」「過ぎたるはなお及ばざるが如し」「良薬は口に苦くして病に利あり」「巧言令色鮮し仁」など聞き覚えのある一節もあり、現代でも通じる考え方や教えがたくさんあります。これら以外に私が好きな一節は、

譬如爲山、未成一簣、止吾止也、
譬如平地、雖覆一簣、進吾往也

簡単に訳すと、「たとえば山をつくるときに、あと一杯の土で山が完成するのに完成しないのは、やめてしまった自分の責任である。たとえばくぼ地を平らにするときに、たった一杯の土を入れただけだとしてもそれだけ進んだことになり、それは自分が進めたのだ。」。簡単にいうと「進めるのも止めるのも全て自分次第である」ということになります。

さあ、新しい年のスタートです。3年生は既に上級学校の入学試験が始まっています。慌てず焦らずあきらめずに着々と進路の実現に向けて歩んでいって欲しいと思います。今年度最後の学期である3学期のスタートですので、2学期（昨年）までの取組を振り返り今年度の締めくくりへ向けて一歩一歩着実に自らが進めていきましょう。そして、学年の締めくくりをよりよいものに仕上げていくと共に、新たな学年・進路に向けた準備を進めていって欲しいと思います。進めるのも止めるのも全て自分次第です。一日一日を大切に過ごしていきましょう。

生徒会新役員任命

1月8日（木）に、生徒会新役員任命式を行いました。本校生徒会規約では、生徒会長が副会長、議長、会計、書記、各委員会委員長の役員を任命することとなっています。一人一人の新役員の名前を呼び、会長の　　さんが任命書を手渡しました。任命された各役員は、緊張しながらもそれぞれに思いを語り、役員としてこれから決意を述べました。どうかしっかり全校生徒をリードして欲しいと思います。また、全校生徒は各役員をしっかりと支えて積極的に活動に取り組んで欲しいと思います。そして、3年生の役員の皆さん、お疲れ様でした。これからは下級生をしっかり支えてくださいね。

役員任命式の後は、役員毎に引き継ぎを行いました。新役員はそれぞれに真剣な表情で、これから役割を自覚し生徒会活動への意欲を高めました。

新たな生徒会役員は以下の通りです。

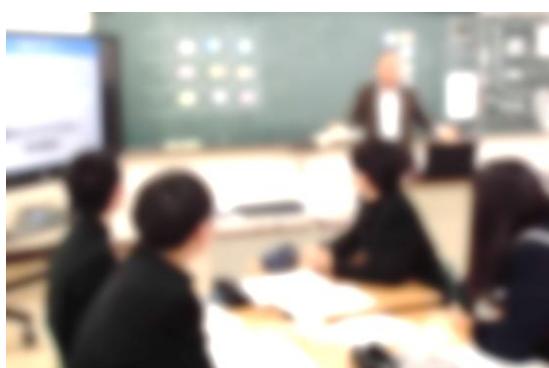
【生徒会副会長】	さん（2年）
【議長】	さん（2年）
【会計・書記】	さん（1年）
【文化委員長】	さん（2年）
【生活委員長】	さん（2年）
【保健委員長】	さん（2年）



役員毎の引き継ぎの様子です

租税教室

1月15日（木）に3年生は「租税教室」を実施しました。この教室は、税金がどのように活用されているのか税の意義や役割を正しく知ることで納税による影響を正しく理解することをねらいとして、社会科の公民分野を学習している3年生を対象として毎年この時期に行っています。今回は、町役場（税務住民課）からお越しいただき租税教室を行っていただきました。税金は、とかく「取られる」とか「払わされている」という義務的なマイナスイメージに捉えがちですが、社会保障や社会整備、教育、警察などの公的サービスを運営するために使われています。つまり、税金は私たちが健康で文化的な生活を送るために、個人ではできない様々な仕事などの公共サービスの費用を、国民みんなで出し合っているのです。3年生は今回の租税教室で、税金の役割や仕組みを正しく理解し、一人一人が社会を支え合っていることを自覚し合えた様子です。



学業成績米をいただきました

1月19日（月）に島根県農業協同組合より3年生に「学業成績米」を一人300gずついただきました。当日は六日市支店から森本司支店長様がお越しになり、教室で3年生一人一人に渡してくださいました。折しも上級学校の入試シーズンが始まっており、JAからの中学3年生の学業成績を祈念されたお米をいただいたことで、3年生一人一人が希望する進路実現に向け決意を新たにしました。大変ありがとうございました。



学校評価について

本校における教育活動その他の学校運営の状況について自己評価を行い、その結果を学校評議員会において学校関係者評価を行っています。自己評価は、昨年末に保護者・生徒・教職員によるアンケートを実施し集計しました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の本校の教育活動に活かしていきたいと思います。

豊かな心『道徳教育の充実』について

自分の考え方や意見を学級の中で発言することができる雰囲気が醸成してきました。今後も道徳教育においても「学び合う学び」を進め、自分の考えを発言できるようにしていきます。

豊かな心『高め合う人間関係の深化』について

生徒は、自分の力を伸ばすために前向きに挑戦できる姿勢があります。学校教育全体でより生徒同士が繋がりをもてる取組を進めています。

豊かな心『生徒の状況を的確に見取る組織体制づくり』について

生徒の情報を教職員がより多く共有し生徒たちの心の声にしっかりと耳を傾けていきます。保護者との連絡を密にし、より気軽に相談出来る場を設定していきます。学校行事、日頃の授業や係・委員会活動においても生徒同士が関わる場を一層多くつくっていきます。

確かな学力『基礎的・基本的な知識・技能の定着』『授業の工夫・改善』について

生徒の授業の満足度は高まっていると考えられ、学習意欲も高まっています。講師を招いての授業実践や研究協議・校内研修を行ったことにより、学び合う学びが確実に進み始めています。全教科による学び合う学びの実施を推進するための取り組みを一層進めています。

確かな学力『家庭学習の定着』について

生徒が家庭学習の有用感や充実感を高める働きかけを工夫していきます。また、授業と家庭学習を連動させ生徒の努力を引き出すような家庭学習を実施していきます。進路学習を通して将来の見通しをもたせ、学ぶことの必要性も実感させていきます。なお、テスト前にだけ家庭学習に取り組む生徒もいるため、家庭学習の習慣化の定着を今後もめざします。

生徒指導の充実『温かさと厳しさのある生徒指導の充実』について

授業の中で“つながりと一体化”をもった生徒同士の人間関係の構築を推進し、生徒指導の充実を図っていきます。学び合う学びについては、講師を招聘し授業研究を進めています。

生徒指導の充実『基本的な生活習慣の確立』について

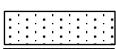
地域や来校された方からあいさつについて、高評価をいただいている。更に場に応じたあいさつや相手との対話の中で必要なあいさつも身に付けるために継続した支援を行います。

開かれた学校の推進『保護者・地域住民との連携の推進』について

コミュニケーション能力を高めることに課題が見られるので、今後は発表に対する質疑への応答や根拠を示しながら自分の考え方や意見を他者に伝える力を育成していきます。

開かれた学校の推進『地域貢献による自己肯定感の高まり・地域への愛着の醸成』について

吉賀高校のアントレ発表を聞いたことにより、本校での「結（ゆい）プロジェクト」と結びつけることができました。また、「結プロジェクト」に向け「自分たちの大切な地域で何ができるか」について考える活動を行ったことで、自分事として何ができるかを深く考える一助となりました。現在、計画段階に入っている「令和8年吉賀中結プロジェクト」に向けて実践を進めています。

生徒回答 
保護者回答 

昨年度 **肯定的回答割合**

(%)

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

